



平成 25 年 1 月 10 日

会社名 株式会社 ヤマダ 電機

代表者名 代表取締役社長 一宮 忠男

(コード番号 9831 東証第一部)

問合せ先 執行役員 経営企画室 部長 山田寿

(TEL : 027-345-8807)

子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社であるエス・バイ・エル株式会社は、平成 24 年 4 月 10 日に公表した平成 25 年 2 月期の業績予想を別紙のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件による当社連結業績予想の変更はありません。

以上



平成 25 年 1 月 10 日

各 位

会 社 名 エス・バイ・エル株式会社
代 表 者 名 取締役社長 荒川 俊 治
(コード番号 1919 東証第 1 部)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 岩 崎 和 行
(T E L . 06-6242-0555)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 24 年 4 月 10 日に公表した平成 25 年 2 月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想

(1) 平成25年 2 月期通期 連結業績予想の修正 (平成24年 3 月 1 日～平成25年 2 月28日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|---------|--------|--------|--------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 53,000 | 1,200 | 1,100 | 600 | 2.94 |
| 今回修正予想 (B) | 41,300 | △440 | △480 | △560 | △2.75 |
| 増減額 (B-A) | △11,700 | △1,640 | △1,580 | △1,160 | — |
| 増減率 (%) | △22.1 | — | — | — | — |
| (ご参考)前期通期実績 (平成24年 2 月期) | 36,683 | 921 | 794 | 421 | 2.30 |

(注) 平成24年 2 月期 (前期) におきまして平成23年12月 9 日開催の臨時株主総会決議に基づき、決算期を変更 (3 月から 2 月) しております。そのため、ご参考情報の「前期通期実績 (平成24年 2 月期)」につきましては平成23年 4 月 1 日から平成24年 2 月29日 (11ヶ月) の数値となります。

(2) 平成25年2月期通期 個別業績予想の修正 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|---------|--------|--------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 50,000 | 900 | 500 | 2.45 |
| 今回修正予想 (B) | 38,900 | △670 | △670 | △3.29 |
| 増減額 (B－A) | △11,100 | △1,570 | △1,170 | － |
| 増減率 (%) | △22.2 | － | － | － |
| (ご参考)前期通期実績 (平成24年2月期) | 34,430 | 480 | 236 | 1.29 |

(注) 平成24年2月期(前期)におきまして平成23年12月9日開催の臨時株主総会決議に基づき、決算期を変更(3月から2月)しております。そのため、ご参考情報の「前期通期実績(平成24年2月期)」につきましては平成23年4月1日から平成24年2月29日(11ヶ月)の数値となります。

2. 修正理由

(1) 平成25年2月期通期 連結業績予想数値の修正 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

当事業年度におきましては、親会社である株式会社ヤマダ電機とのスマートハウスビジネスを通じた相乗効果を発揮し事業拡大を図るべく、機動力向上を目的とした地区本部制の導入をはじめとした組織体制の見直し、支店の新規開設、分譲事業拡大のための土地仕入れの強化、アパート事業の拡大に向けた商品開発及びそれらに対応する人材補強などの先行投資を活発に実施しました。その結果、リフォーム事業、分譲事業、部材販売において前年を上回る売上を見込め、合計の売上高は前年対比約110%(前年は仮設住宅を除き、11ヶ月決算を12ヶ月に見做した実績対比)となる見込みであります。

しかしながら、当初計画していた適材適所への人員配置等の増強計画や分譲用地の取得時期に遅れが生じたことが販売活動に影響するなど、営業施策面のスケジュールが遅延したことによって、当初見込んでおりました注文住宅・分譲販売における計画の実現が困難となり、本格的な業績面での収益寄与が翌期以降へ繰り越される見通しとなりました。そのため、当期に実施した先行投資が一時的に当期業績にも影響を与える結果となりました。

今後は、本日開示している「商号の変更及び定款の一部変更に関するお知らせ」の通り、商号変更を行うことによって、株式会社ヤマダ電機とより強固に連携すると共に、先行投資の各種施策を結実させることで、早期に業績を拡大し収益を向上できるように努めてまいります。

(2) 平成25年2月期通期 個別業績予想数値の修正 (平成24年3月1日～平成25年2月28日)

主に連結業績予想の修正理由と同様の内容となります。

※ 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上